

令和3年度第1回知立市障害者地域自立支援協議会 議事録

会 議 名	令和3年度第1回知立市障害者地域自立支援協議会		
日 時	令和3年12月23日(木) 13時30分～14時45分	場所	知立市中央公民館 1階 大会議室
出席者 (敬称略)	<p>○委員</p> <p>橋本 喜己 社会福祉法人 けやきの会 理事長 永井 淳子 知立手をつなぐ育成会 会長 柴田 勝正 知立市身体障害者福祉協議会 会長 都築 元直 NPO法人かとれあ福祉ネット 家族交流会かとれあ会 代表 横井 宏和 知立市社会福祉協議会 事務局長 加藤 浩一 知立市民生・児童委員協議会 障がい福祉部会 会長 福島 洋子 刈谷公共職業安定所 就職促進指導官 高木 正秀 刈谷市立刈谷特別支援学校 教頭 八重澤 直樹 愛知県立安城特別支援学校 部主事 阿部 陽子 株式会社てるテル 事務長 加藤 竜也 知立市 保険健康部 健康増進課長 翠 泰由 知立市 教育委員会 学校教育課 指導主事</p> <p>以上12名</p> <p>○事務局</p> <p>奥村 康明 福祉子ども部福祉課長 石川 真理 福祉子ども部福祉課長補佐 安部 友都 福祉子ども部 福祉課 障がい福祉係 主事</p>		
欠席者 (敬称略)	<p>中根 恵美子 愛知県衣浦東部保健所 健康支援課 こころの健康推進グ ループ 課長補佐 高木 紀子 医療法人成精会 刈谷病院 精神保健福祉士 山口 初江 愛知県刈谷児童相談センター 児童育成課長 中嶋 宇月 知立市聴覚障害者協会 会長 成瀬 正孝 特定非営利活動法人 Ami 理事長 大南 友幸 西三河南部西圏地域アドバイザー 社会福祉法人 ひか りの家</p> <p>以上6名</p>		
<p>1. 開会 会長、副会長選任 会長 橋本 喜己、副会長 永井 淳子</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 知立市第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画の進捗管理について</p> <p>※事務局より資料のとおり説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉サービス等の実績について(資料1) ・協議会・部会の令和2年度 活動実績 及び 令和3年度 検討事項(資料2) 			

・事前質問に対する回答（資料3）

・地域生活拠点等の整備について

（会長）

事務局の説明は終わりましたが、質問、ご意見があればお願いします。

（加藤（浩）委員）

協議会・部会の令和2年度活動実績及び令和3年度検討事項についてですが、令和3年1月17日に開催された福祉避難所についてお聞きします。

まず、けやき作業所が福祉避難所として協定を結んで何年くらい経ちましたか。

（事務局：福祉課長補佐）

平成27年にけやき作業所と協定を結んでおります。

（加藤（浩）委員）

協定を結ばれてから、福祉避難所に対して受入れ等の避難訓練をやられていますか。

また福祉避難所については安心安全課、長寿介護課、福祉課の3課で協議していくと書いてあるが、今までやってきているのか。

（事務局：福祉課長補佐）

毎年協議等は行っており、今年度も行っております。

（加藤（浩）委員）

その協議内容を、けやき作業所等に話し、内容を落とし込む作業をしているのか。

（事務局：福祉課長補佐）

まだ福祉避難所として協定を結んだ事業所と直接の協議には至っておりません。今、福祉避難所の運営について具体的なことを3課で確定したのち、事業所との協議を重ねていきたいと思っております。そのため先ほど言われた防災訓練等もまだ実施できておりません。

（加藤（浩）委員）

今、災害が起きたらどうするのですか。締結したから終わりではなく、市の方が主導してやっていかないといつまでたっても進まない。その点に関してどうお考えですか。福祉避難所の主導はどかがやるのですか。

（事務局：福祉課長補佐）

3課で運営について協議している段階であり、どう主導にしていくかまだ定まっておりません。

（加藤（浩）委員）

例えば今地震が起きれば、健常者の方がどうするかは、区長会をはじめいろいろなところがかかり切り込んでいる。知立市において非常によいことは避難所である各学校が災害対策をしっかりと考えており、かなりレベルが上がっている。ただこの「福祉」という言葉がついてしまうとトーンが下がって、全然歩っていない。結局、他のところでもそういうことがあるのではないかと感じてしまう。最後にされてしまっているのではないかと。早急にやってもらいたい。

（事務局：福祉課長）

今の福祉避難所の話につきまして、ご指摘のとおりです。現在福祉避難所は11箇所指定されておりますが、協定を結んで以降、具体的に話が進んでいなかったということが実情です。

障がい者、高齢者等の福祉避難所の運営の方法等について、行政ができること、協定先の事業所ができること等を協議し、すり合わせていくことで、有事に備え、これから福祉避難所を運営できるようにやっていかないといけないと、3課で話し合いを始めたというところでもあります。いつ災害が起こるか分からないなか、対応が遅いという意見はごもっともでもあります。ただ着手し始めたというところだけご理解していただきたいです。いましばらくお時間いただければと思います。よろしくお願いします。

(会長)

貴重なご意見ありがとうございます。これからも福祉避難所について協力できることがあれば協力させていただきますのでよろしくお願いします。他にご意見等ありますか。

(永井委員)

いきがいセンターを福祉避難所に指定した際に、だれが管理するのかという問題になり、知立障がいフォーラム「リングC」(以下リングCとする。)はどうかと協議を行ったことがありました。その時に出席したのは、福祉課のみでした。「安心安全課、長寿介護課は、なぜ来ないのですか、この福祉避難所には高齢者はこないのですか。」といろいろな問いかけをしたことを覚えています。1つの課が請け負うのではなく連携した課で動いてこそ、と思っているのでこれに関しては前進しているのかなと思っています。

私といたしましては、災害が起こる前に、障がい者本人がどんな体験ができるのかを考えております。福祉課には案としてですが、年に1度、安心安全課が行う防災訓練の時に、障がい者自身で簡易トイレを組み立てることができるのか、大きな窯で炊き出しができるのか、非常食が食べられるのか、などの体験をしてみる必要があるですねとお話をさせていただいたことがあります。ただ新型コロナウイルス感染症の関係で市の防災訓練が中止、縮小されてしまったりと、なかなか実現できずにいます。本当に災害が起きた時、障がい者、高齢者に対して実際にどう動いたらよいかかわからないということがまだまだ課題として残っております。

また、災害に対して危機感を感じていない人が多いとも思っております。それは、知立市で大きな災害を体験している市民、職員が大変少ないと思われるからです。私を含めてこの危機感のなさにこれではいけないとつくづく思うばかりです。

そしてもう一つ。事前質問にある新型コロナウイルス感染症の影響は各事業の運営に出ているかという質問についてになりますが、市の事業について草の根フェスティバル、障がい者スポーツ大会は昨年引き続き中止となりましたと報告されています。こちら新型コロナウイルス感染症のせいで開催できないことが大変心苦しいです。令和4年度は両事業とも計画はしておりますが、何分コロナがどういう状況になるかで、瀬戸際に立たされております。両事業は、市からリングCへ委託を受けて行っているものになります。このような状況で、両事業を開催することについてどうお考えになりますか。昨年のように、緊急事態宣言ができればもちろん中止とすることはやむを得ないのか、はたまた計画をしていたので、縮小や感染症対策をして少しずつでも開催していくべきなのか。

(加藤(浩)委員)

私が行っているボランティア活動の中では、やはり緊急事態宣言がでた場合には、中止しております。緊急事態宣言が解除されても蔓延気味であれば対策を行っています。例えば、学校を訪問するような活動の際は、対話を避けるために放送設備を使う、啓発用の

DVDを視聴してもらおう等行っている。活動の大小に関わらず、緊急事態宣言中はすべて中止となっている。様々な障がいをお持ちの方がいるが、みなそういった事業や活動を本当に大切にしており、我々が思っている以上に楽しみに待っておられるので、しっかりと様子を見ながら実施していくことが大切だと思います。

(永井委員)

ありがとうございます。加藤委員のおっしゃるとおり、様子をみながら私たちは、開催にむけて準備をしていきたいと思えます。ただ、直前で中止になってしまう可能性も十分にあります。このコロナ禍で得た知識として直前のキャンセルでは、無料で済む場合とそうでない場合がある。アーティストなどに依頼するとキャンセル料が発生してしまうことが多い。文化的事業である草の根フェスティバルを開催しないと委託料がもらえないのでキャンセル料すら払えないということが起きてしまう。キャンセル料が発生しないようにするには大抵半年前くらいにキャンセルしないといけない。キャンセル料を払うお金がないために早々と中止にしてしまいました。ここはひとつ、令和4年度は、キャンセル料が発生した場合は、市でなんとかしていただけるよう工夫をしていただきたい。そうすれば直前まで計画を遂行して、やる方向で事業を進めていけますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(柴田委員)

永井委員がおっしゃったように、100人を超すようなイベントや、1日要するようなイベントは、今日明日計画してできるものではなく、半年以上前から進めていかなければならない。そうしますと、計画時には実施できる状況でも、半年後には難しい状況になってしまうということをご理解していただきたいと思っております。

(永井委員)

そうですね。これに関しては本当に予測がつかないもので、そういったものに不安を感じて常に迷っているということをご理解していただける良い機会になりました。この報告だけでは簡単にやめてしまったと思われるかもしれないが、開催するために頭を悩ませ、どうかにはやりたいという思いであることを知っていただければ幸いです。ありがとうございます。

(会長)

柴田委員、永井委員ご意見ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。

(永井委員)

もう1点、地域生活支援拠点等の整備についてということで、基幹相談支援センターが中心になって24時間体制で携帯電話を持ち、幸いながらいまだ一件もないということですが、これは本当に良いことだと思いますが、この電話番号は広報に一度掲載したのち、こういった形で啓発されておりますか。

(事務局：福祉課長補佐)

市の方としましては、4月に広報に掲載させていただきまして、社会福祉協議会のホームページには随時載っている形となっております。もっと啓発をしていきたいと思っております。

(永井委員)

それと、これに伴い緊急保護をしてほしいというシートを提出してくださいと案内がありますが、1度自分を保護してほしい、今後不安がある方という方で緊急シートを提出した

人が実際に16名と非常に少ないと思う。市の方としてはもっとたくさん提出されると思っていたのか、これぐらいと思っていたのか、考えを教えてください。

(事務局：福祉課長補佐)

いろいろなところに情報を提供する関係で、同意をいただくものになるため、なかなか数を増やすことが難しいが、相談支援専門員に心配な方等に声かけ等をお願いしている。ただ緊急性を感じている障がい者がまだ少ないのかなと思っております。

(永井委員)

家族がいたり、隣近所に知り合いがたくさんいて安心できる環境の方でも緊急シート提出は可能ですか。

(事務局：福祉課長補佐)

提出は可能です。このシートを提出していただくことで、緊急時の早急な対応にも繋がると考えております。

(永井委員)

広報に1度載せることや社会福祉協議会のホームページに書いてあるだけでは、障がいを持った方に緊急シート、緊急電話を知ってもらうことがなかなか難しいと思う。各障がい者団体で会員に周知・普及してよろしいですか。

(事務局：福祉課長補佐)

はい。ぜひお願いしたいです。

(永井委員)

こちらをいろいろな形で周知する際、注意点等ありますか。また24時間体制に関して運用してみた問題点等でておりますか。

(横井委員)

注意点としましては、あくまでも緊急電話は夜間となっております。日中は基幹相談支援センターがやっておりますのでそちらへお電話してもらえればと思っています。

本年度始めた事業ではありますので私どももまだ手探りの状況であります。様々なご意見等いただければ幸いです。

現状、相談支援専門員より困った点等の報告はございません。

(永井委員)

ありがとうございます。

(会長)

他にはよろしかったでしょうか。

(加藤委員)

資料1ではたくさんの数値を算出していただきありがとうございました。知立市の福祉施策についてうまくいっているところ、まだまだであるところがあると思う。事務局のお二人の見解でよいので、全体的に知立市はうまくやっているのか考えを教えてください。

(事務局：福祉課長補佐)

課題としては、地域資源が少ないため他市の施設を頼ってしまっているということが挙げられます。市内で施設が増えてれば利便性が向上するとともに、知立市のことをもっと好きになってもらえると思っています。

(事務局：福祉課長)

この表にありますように施策が様々あります。そして石川のほうから市内の福祉サービス事業所が足りないと話がありましたが、市外の事業所も使える制度となっております。多くの方にこの制度を知っていただいていると思っております。これは障がい福祉担当の部署としましては大変喜ばしいことであります。ただ知立市として考える時に、よく言われることが、福祉サービスを使っていただきますとその分事業費もかかってきます。市の負担分が財政を圧迫しており、歳出を抑制できないかということを経営の運営体と考えたときに言われてしまうところではあります。しかし、必要な支出であると財政担当にしっかりと説明させていただいております。そういったなかで現在言われておりますのが、過度なサービスの提供の見直しはやはり図っていかないといけないと思われれます。もちろん必要なサービスの提供に関しては継続していきます。障がい者の方々の生活が充実できるように適切にサービスの支給をしていきたいと考えております。

(加藤委員)

ありがとうございました。

(会長)

その他質問等はございますか。

以上を持ちまして、第1回知立市障害者地域自立支援協議会を終了します。ご協力ありがとうございました。